

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【公開番号】特開2013-70841(P2013-70841A)

【公開日】平成25年4月22日(2013.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-019

【出願番号】特願2011-212005(P2011-212005)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の当り状態を有する遊技機であって、

当該遊技機に投入された遊技媒体数を示す投入数と、当該遊技機から払い出された遊技媒体数を示す払出数と、を遊技の進行に伴い取得する出入数取得手段と、

所定の条件に基づいて遊技状態を遷移させるゲーム管理手段と、

前記ゲーム管理手段が前記当り状態に遊技状態を遷移させたときにおいて、前記投入数と前記払出数に基づいて算出される値が所定の条件を満たす値の場合に、前記当り状態の連続回数を示す連続当り回数を更新して記憶する連続回数管理手段と、を備える

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

所定の報知手段と、

前記報知手段が行う複数の報知パターンを記憶する記憶手段と、

前記報知手段の報知パターンを制御する報知制御手段と、を備え、

前記報知制御手段は、前記連続回数管理手段が記憶する前記当り状態の連続回数を示す連続当り回数に応じて、前記当り状態の終了後の前記所定の報知手段報知態様を前記複数の報知パターンのいずれかに制御する

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記所定の報知手段には、それぞれ独立して制御可能に構成された第1報知手段と第2報知手段とが含まれ、

前記報知制御手段は、前記第1報知手段と前記第2報知手段とを異なる報知態様で制御する

ことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記報知パターンを、遊技の進行に伴って増加するゲーム回数に対応させることなく、前記投入数と前記払出数に基づいて算出される値、又は、前記投入数と前記払出数に基づいて算出される値に基づいて求められる前記連続当り回数に対応させ、

前記投入数と前記払出数に基づいて算出される値を尺度として、前記貸出単位数あたりでゲーム可能なゲーム回数が異なる遊技機同士を比較可能とした

ことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、所定の当り状態を有する遊技機であって、当該遊技機に投入された遊技媒体数を示す投入数と、当該遊技機から払い出された遊技媒体数を示す払出数と、を遊技の進行に伴い取得する出入数取得手段と、所定の条件に基づいて遊技状態を遷移させるゲーム管理手段と、前記ゲーム管理手段が前記当り状態に遊技状態を遷移させたときにおいて、前記投入数と前記払出数に基づいて算出される値が所定の条件を満たす値の場合に、前記当り状態の連続回数を示す連続当り回数を更新して記憶する連続回数管理手段と、を備える構成としてある。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 3

【補正方法】削除

【補正の内容】